

防府競輪場施設整備事業

基本設計概要版

防府市

令和4年(2022年) 2月

目次

(1) 基本コンセプト・整備方針	1
(2) 設計概要・付近見取図	2
(3) 配置計画	3
(4) 平面計画	4
(5) 観覧席からの見え方検討	5
(6) 設備計画・ユニバーサルデザイン計画	6
(7) 新メインスタンド完成イメージ図	7

■基本コンセプト

市民に親しまれ、自転車を通じた交流の輪が広がる競輪場

安全・安心で、来場者が快適に競輪を楽しめるとともに、競輪以外のサイクリススポーツなどに触れることができ、市民に親しまれる競輪場を整備するため整備の基本方針を以下に定めます。

■整備方針

1. 「防府」らしさを感じさせる競輪場

- 競輪場周辺のまちなみと調和した防府のまちにふさわしい佇まいの競輪場とします。
- 競輪ファン、観光客、市民の誰もが気軽に立ち寄れる、明るい開かれた競輪場とし、サイクリススポーツの振興と観光資源としての活用に寄与する施設とします。



【防府天満宮】



【周防国分寺】



【うめてらす】



【山頭火ふるさと館】

2. 誰もが訪れやすい交流の輪が広がる競輪場

- 周辺環境や施設利用者を考慮し、競輪場を「交流ゾーン」、「ファンゾーン」、「管理ゾーン」に明解に分けて整備し、誰もが訪れやすく、交流の輪が広がる計画とします。

交流
ゾーン

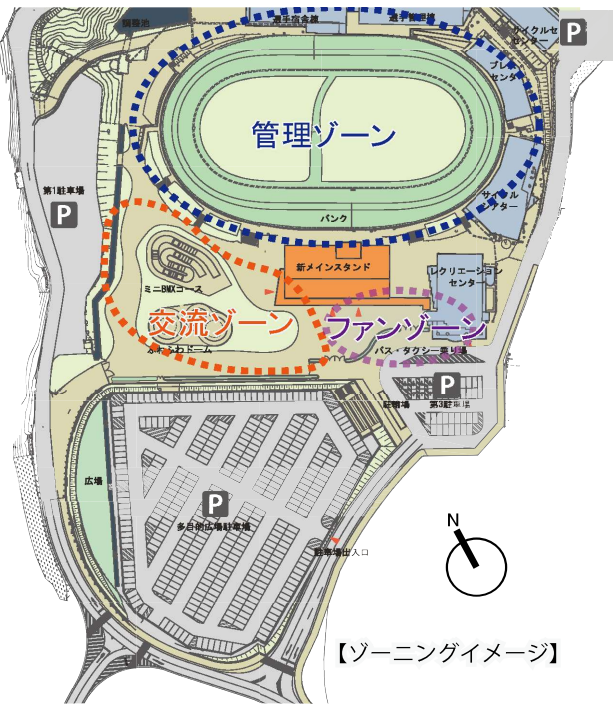
～新たな交流を創出～
自転車を通じた交流を生み、誰もが
楽しめる交流広場を整備

ファン
ゾーン

～サイクリススポーツの振興と
観光資源としての活用～
競輪を間近で体験できる空間整備と
地元選手のPR・情報発信の場を整備

管理
ゾーン

～競技に集中できる環境づくり～
競輪場関係者や選手が利用する
ゾーンは他のゾーンとは分けて整備



3. 安全・安心で観覧しやすい競輪場

- 明解な施設構成とゾーニングで誰もが利用しやすい施設計画とします。
- 全ての観覧席からバンクのホーム直線部最外側ライン上が見えるサイトラインを確保した上で、スタンドを最大限バンクに寄せ、本場開催のレースを至近距離で観戦できる、臨場感あふれる観覧席を整備します。
- 子供から高齢者、障害のある方等全ての利用者にとって、利用しやすい施設とするために、ユニバーサルデザインを導入します。
- 駐車場にアクセスする来場者の車両動線と、各駐車場から競輪場にアクセスする歩行者の動線が交錯しない安全な計画とします。
- 「交流ゾーン」、「ファンゾーン」の近くに駐車場を整備し、各ゾーン全ての来場者がわかりやすく、動線がシンプルとなる利用者の利便性に配慮した計画とします。

■計画概要

事業名称	防府競輪場施設整備事業						
主要用途	観覧場						
敷地概要							
所在地	山口県防府市国分寺町157番26外						
敷地面積	40,002.52 m ²						
都市計画							
用途地域	なし（市街化調整区域）						
建ぺい率	60%	5,497.05	/	40,002.52	=	13.7	%
容積率	100%	12,308.15	/	40,002.52	=	30.8	%
防火地域	指定なし						
その他区域等	指定なし						
前面道路	東	法42条1項1号道路	競輪場線（市道）	幅員：7.2m	（拡幅工事後）		
	南西	法42条1項1号道路	前小路天神山線（市道）	幅員：9.2m			

■建物概要

棟番号	工事種別	棟名称	構造	階数	面積（㎡）		備考
					建築面積	延床面積	
1	新設	メインスタンド	鉄骨造	3階	約1,100.00	約2,200.00	
2	新設	駐輪場	鉄骨造	1階	約80.00	約80.00	
3	改修	コーナースタンド1～4	-	-	-	-	
4	既存利用	レクリエーションセンター	鉄筋コンクリート造	3階	850.90	1,642.91	
5	既存利用	サイクルシアター	鉄骨造	3階	768.99	1,682.44	
6	既存利用	プレスセンター	鉄骨造	2階	493.64	852.17	
7	既存利用	渡り廊下1	鉄骨造	1階	62.87	-	
8	既存利用	渡り廊下2	鉄骨造	1階	86.73	-	
9	既存利用	選手管理棟	鉄骨造	3階	764.02	2,204.51	
10	既存利用	競輪局事務所棟	鉄筋コンクリート造	2階	515.47	928.60	
11	既存利用	選手宿舍棟	鉄筋コンクリート造	4階	774.43	2,717.52	
				合計面積	5,497.05	12,308.15	

メインスタンド	収容人数	約1,000人
	観覧席数	約300席



付近見取図

■誰もが利用しやすい安全・安心に配慮した配置計画

- ・新メインスタンドは現在のメインスタンドと同じ位置に整備し、メインスタンドの隣に交流ゾーンを整備します。
- ・メインスタンドに近い第3駐車場には、車椅子用駐車場やバス乗り場などを整備し、誰もが利用しやすい計画とします。



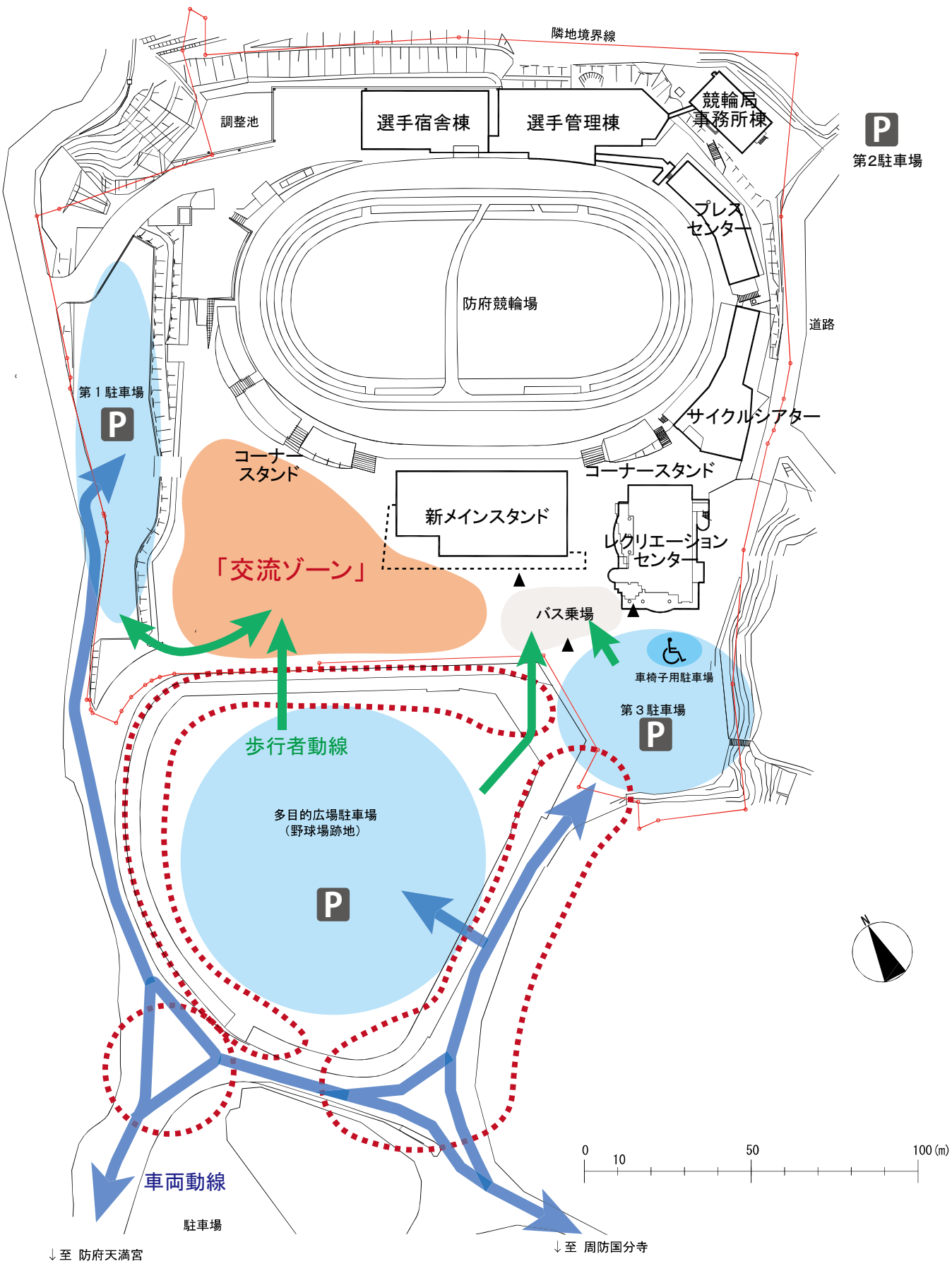
交流ゾーン

ペダルのない自転車（キックバイク）で起伏のあるコースを走ったり、親子で自転車を楽しんだり、子供に人気の遊具で遊ぶことができる場所です。

凡例

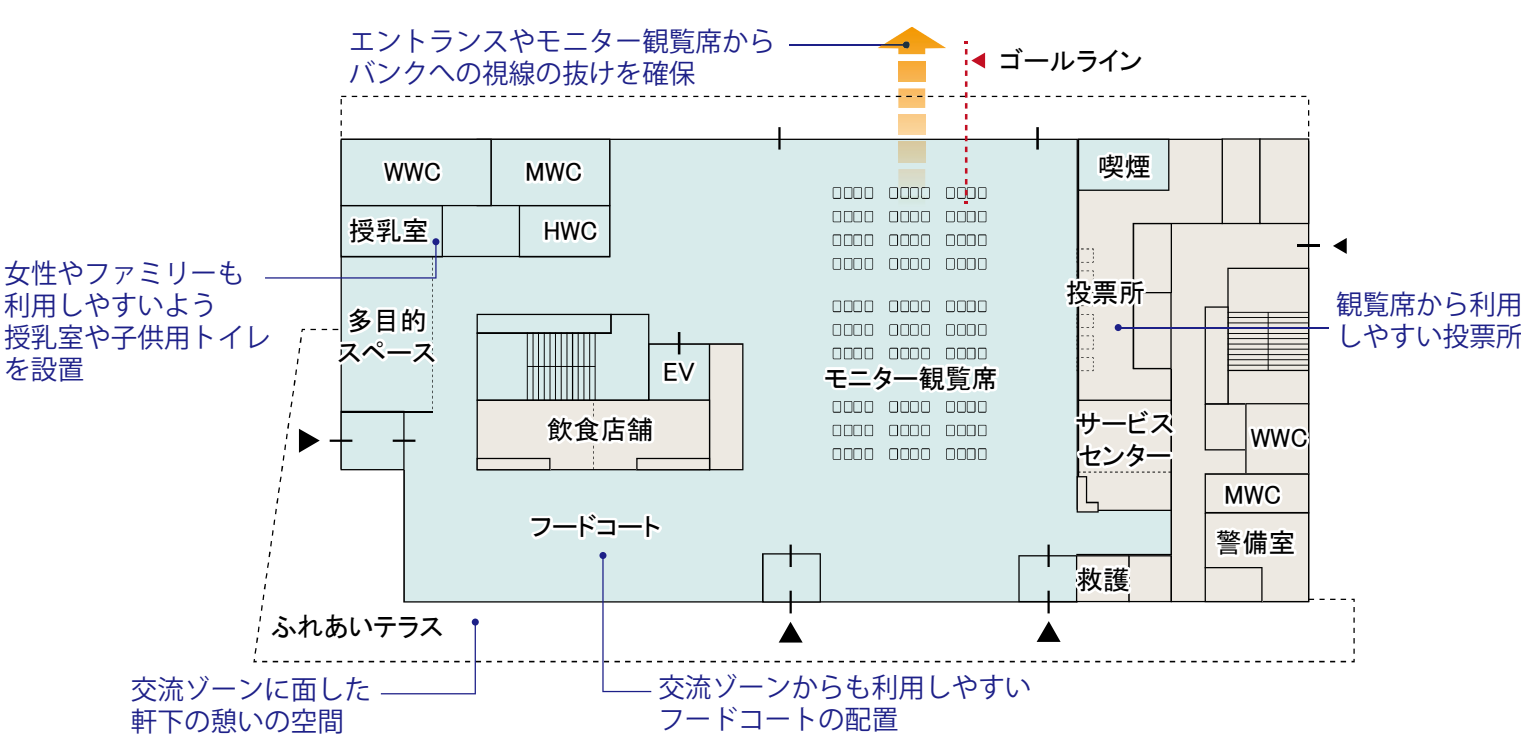
歩行者動線

車両動線



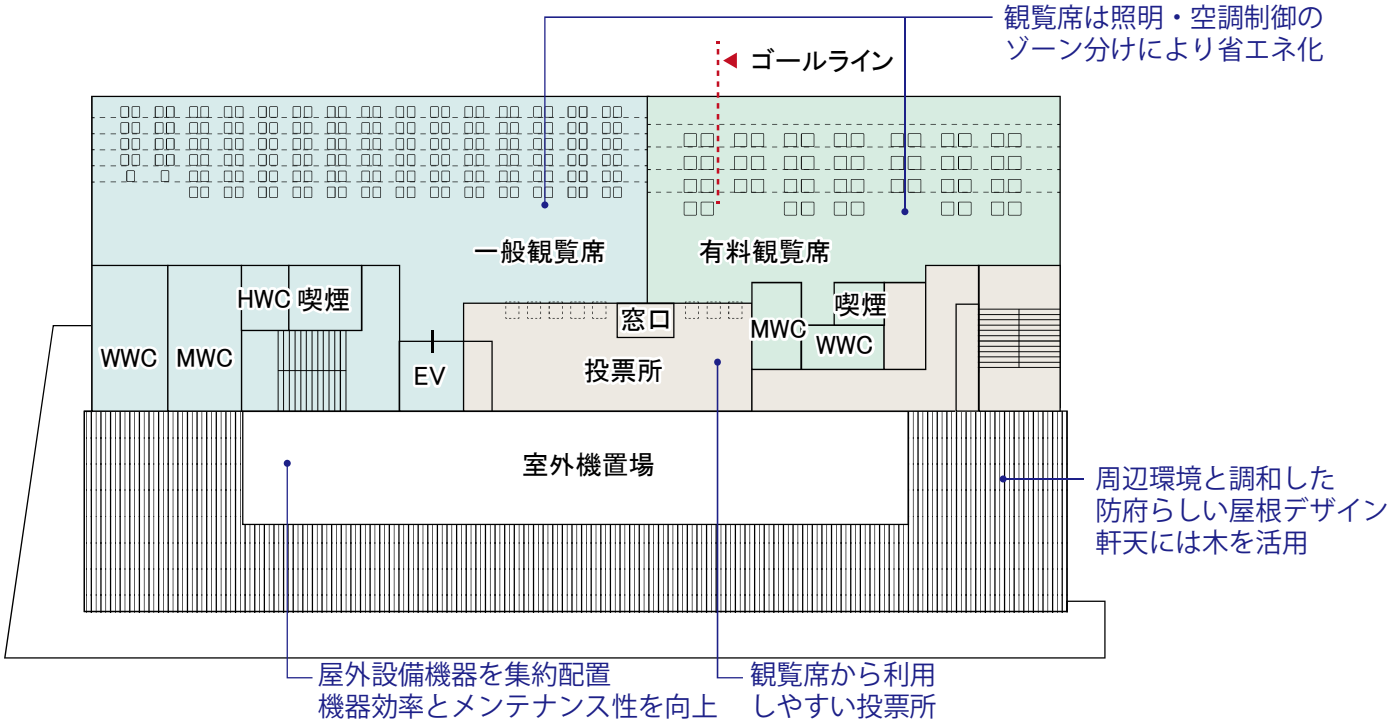
1 階平面構成

- ・モニター観覧席周囲の客溜りを含む『観覧エリア』と、フードコートやトイレ、授乳室などの『サービスエリア』、投票所などの『業務エリア』を明確に分けた計画とします。



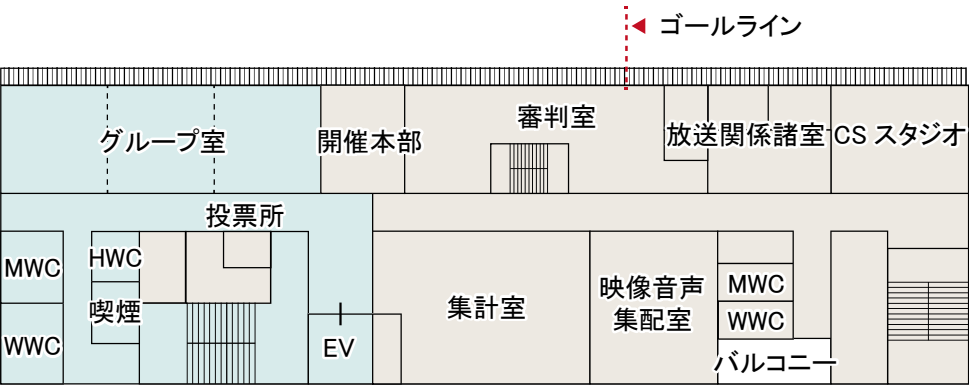
2 階平面構成

- ・一般観覧席と有料観覧席の『観覧エリア』と、投票所などの『業務エリア』を明確に分けた計画とします。



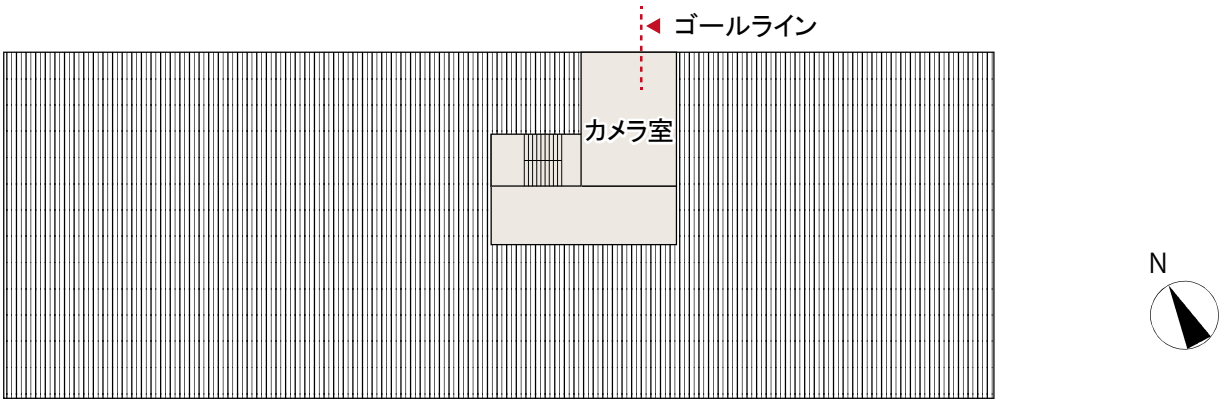
3 階平面構成

- ・3 階は審判室などの『業務エリア』とします。
- ・グループ室は来賓室や個室の観覧席として利用できる計画とします。



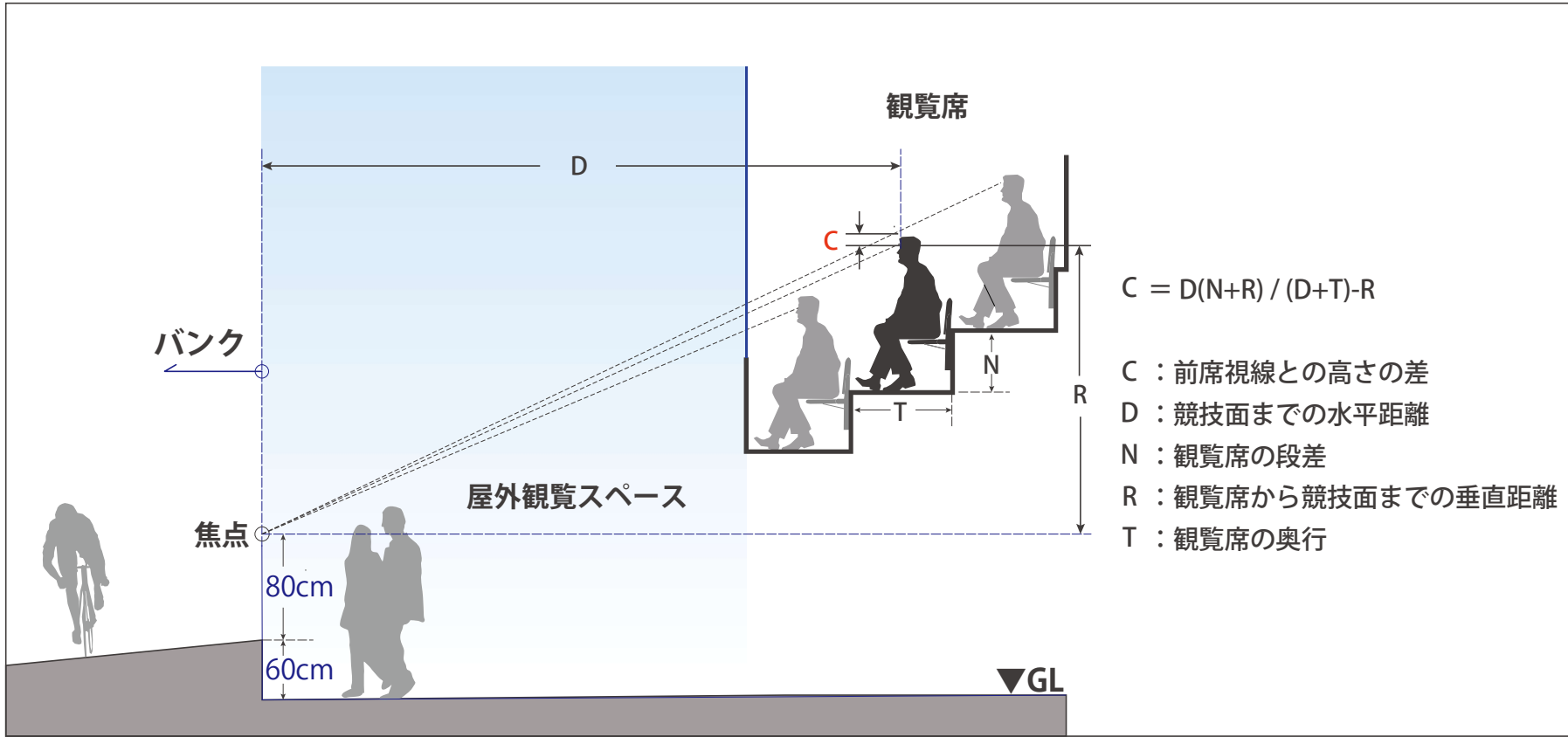
PH 階平面構成

- ・PH 階は審判の写真判定に必要なカメラ室を整備します。



- 一般エリア
- 有料エリア
- 業務エリア

■観覧席（2 階）からの見え方検討

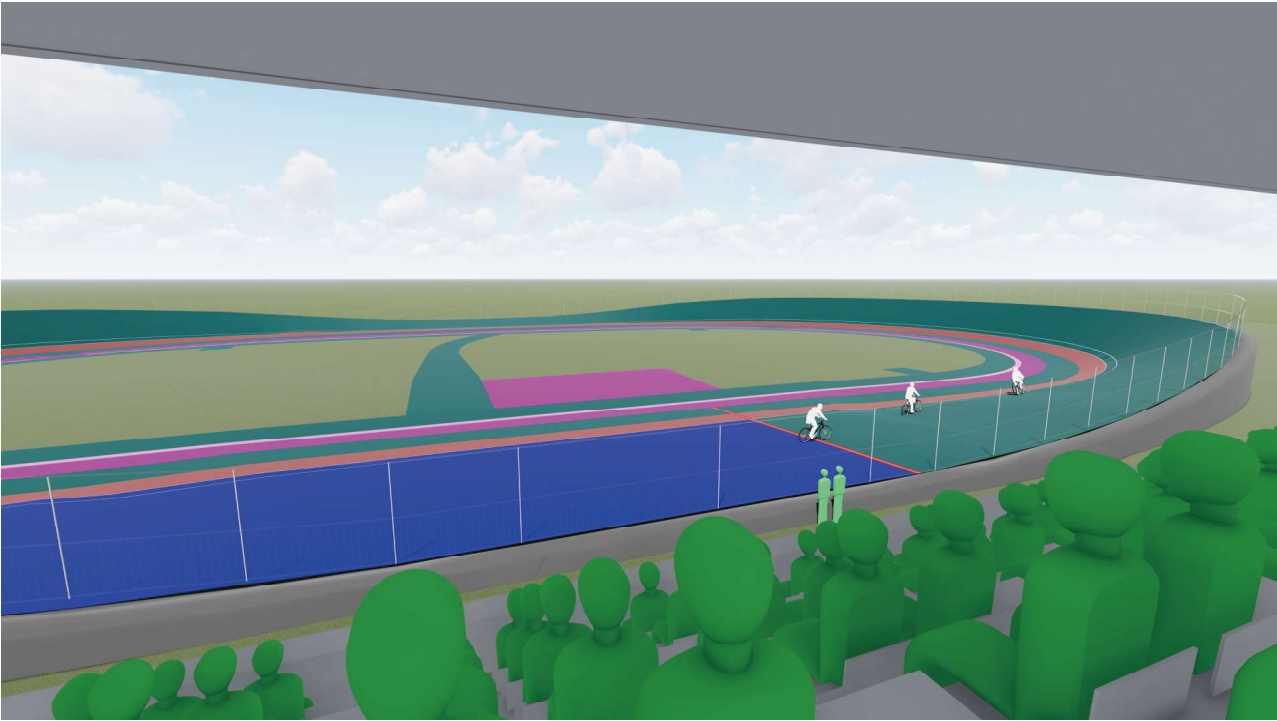


■設計方針

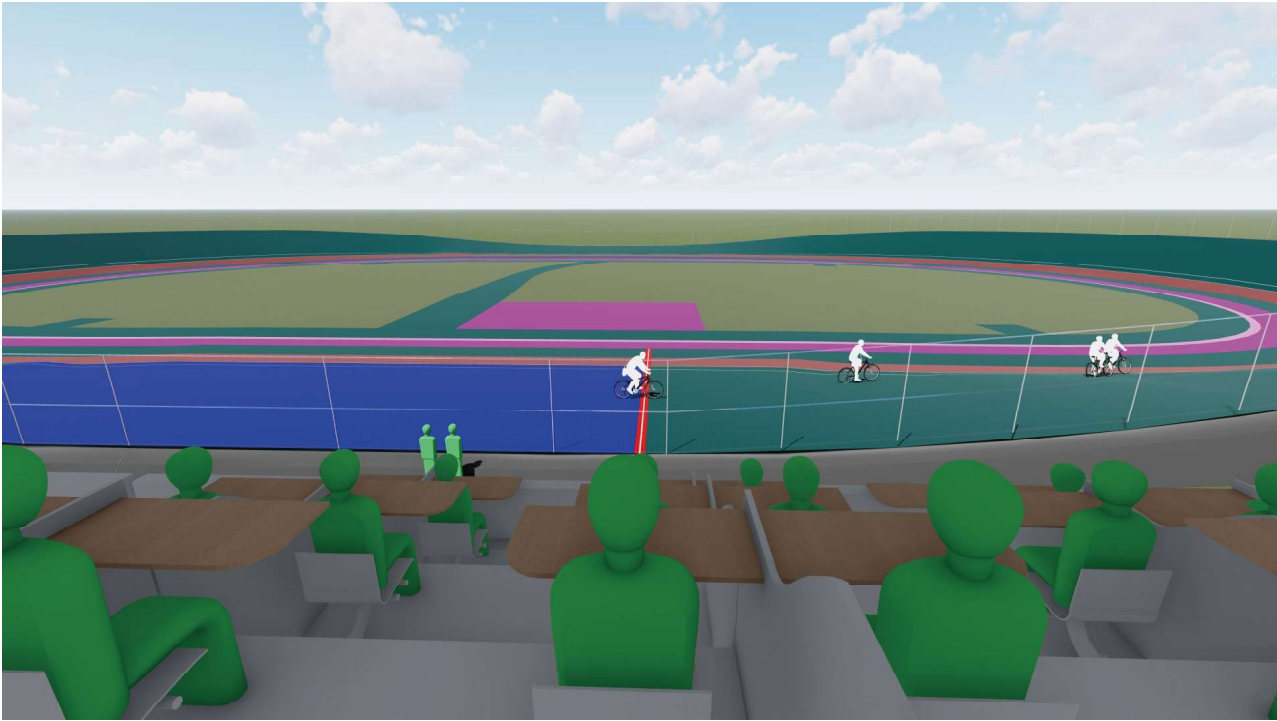
- ・スタンドを最大限バンクに寄せた、臨場感のある観覧席を計画します。
- ・見やすさの指標となるC値（前列観客の目の位置と自分の視線の高さの差）を、120mm 以上の値とします。
- ・視線焦点はホームストレッチ部の最縁線上、バンクレベルより 80cm 上側に設定します。

※一般的に良好な視界が確保できる値は 90mm 以上とされる

観覧席からの見え方検討図



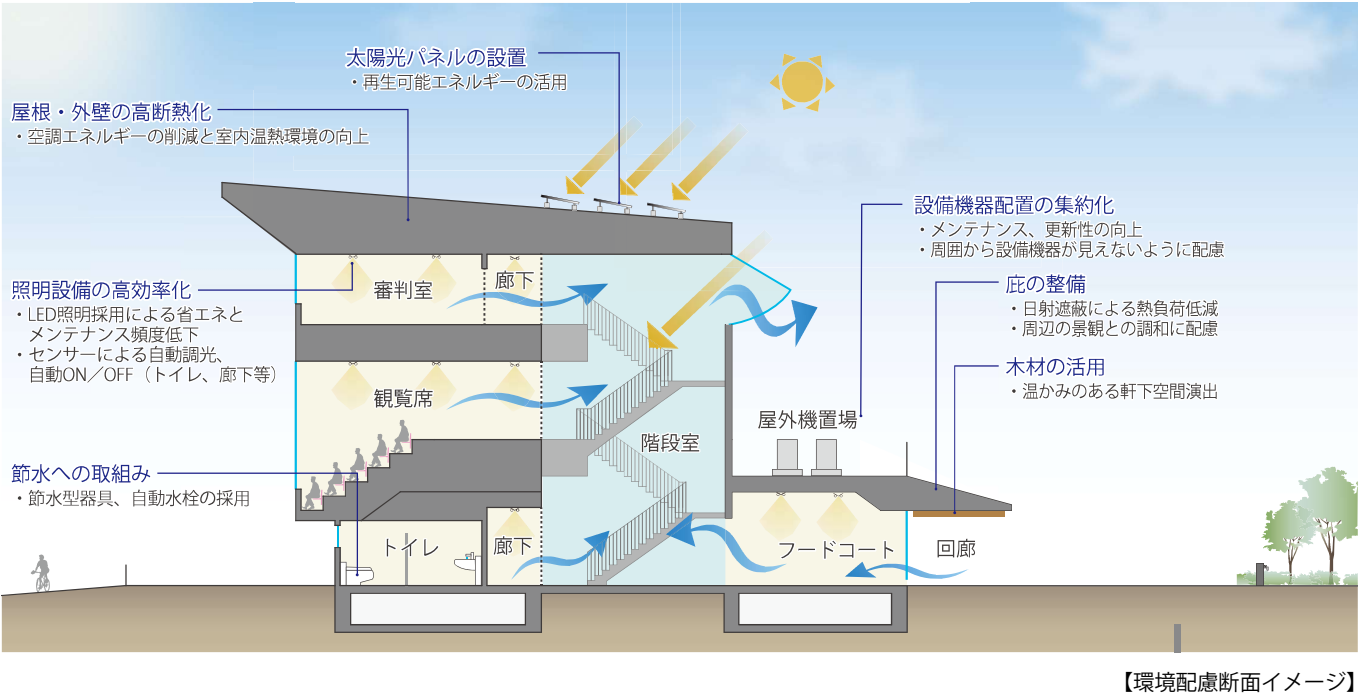
2 階一般席からの見え方イメージ



2 階有料席からの見え方イメージ

■省エネルギーや環境に配慮した設備計画

- ・空調熱源は EHP（電気）と GHP（ガス）を組み合わせ、イニシャルコスト及びランニングコストに配慮した計画とします。
- ・高効率熱源機や全熱交換機（業務エリア）等の採用により、快適な室内環境を維持しながら環境負荷及びエネルギー消費の削減を図ります。
- ・節水衛生器具や自動水栓の採用により、節水と給水動力の低減を図ります。
- ・階段室では煙突効果を利用した自然通風を確保し、自然換気を促します。
- ・キュービクルや自家発電設備、熱源設備は屋外型を屋上屋根に集約して配置し、日常の維持管理が容易な計画とします。
- ・太陽光発電システムを導入し、再生活用エネルギーを活用します。



■ユニバーサルデザイン計画

- ・子供から高齢者、障害のある方を含め、全ての利用者にとって使いやすい施設とするため、ユニバーサルデザインに配慮した計画とします。
- ・敷地内の高低差が少なく、メインエントランスに近い第3駐車場には車椅子用駐車場を設けます。
- ・全てのお客様により快適な観覧環境を提供するため、車いす席などを整備し、一般観覧席と同様のバンクの見え方を確保します。
- ・女性や家族連れが利用しやすいよう、授乳室や子供用トイレ、パウダーコーナーを設けます。
- ・各階にバリアフリートイレ（オストメイト対応）を整備し、1階にはベビーシート、ベビーチェア、着替え台を整備します。



【バリアフリートイレのイメージ】



【パウダーコーナーや授乳室のイメージ】

